

岡山市がん対策委員会 患者代表委員 牧野 登
同 守屋節子

意見書

1 受動喫煙防止対策について

平成26年度第1回目の委員会にご出席の皆様からのご賛同をいただき、運動場を含めての学校内の全面喫煙禁止が実現できたことを厚く感謝申し上げます。

さて、岡山市はたばこのポイ捨てを防止するため、2007年3月に、「美しいまちづくり、快適なまちづくり条例」を制定し、美化推進重点区域を作りました。美化推進重点区域とは、多数の方が集い、特に美しいまちづくりを推進する区域で、区域内の道路・公園等の公共の場所での路上喫煙が禁止され、喫煙を制限されていますが、岡山駅周辺の3か所の喫煙可能場所での喫煙は例外的に認められています。はたして美化推進重点区域内に、しかも人通りの多い場所に喫煙可能という例外場所があっていいのでしょうか。例外場所を特に通行人が多い場所に設置した理由は何でしょうか。例外場所はバスの停留所付近と横断歩道のそばに、それぞれの場所で、バスを待たれる方、信号待ちをされる方は喫煙者の方の副流煙に悩まされています。そこで岡山市議会に受動喫煙の防止と啓発について患者団体から陳情書を提出し、審議していただきましたが（3月6日）、採択には至らず継続審議になりました。岡山市当局の方々はこの件に関して、「改善の必要性」を理解してくださっていた様なので非常に残念な結果になりました。がん対策推進条例を持つ政令都市にふさわしい配慮を施していただけますようお願い申し上げます。

① 岡山駅周辺の喫煙可能区域内の喫煙対策を以下（1）（2）のように市長に提言してください。

- （1）美化推進重点区域に喫煙可能という場所を見直し、例外を取り除いてください。美化推進重点区域以外へ喫煙場所を移動することを検討してください。
- （2）喫煙場所の移動が無理な時は、受動喫煙防止のために、たばこの煙が外に広がらない、副流煙を受動喫煙しなくてすむ設備を早急に作ってください。

（ア）～（ウ）は岡山駅周辺3か所の喫煙可能場所の現状写真です

（ア）岡山駅前広場の指定喫煙所



岡山駅前（バス亭前）の現状です
平成26年秋にJTの寄付によって喫煙所の周りをパーティションで覆い屋根を取り付け、喫煙者が風雨にさらされず、喫煙しやすい空間が誕生しました。岡山市長はJTに寄付への感謝状を贈りました。4番バス停でバスを待つ人はますます受動喫煙の害を被るようになります。

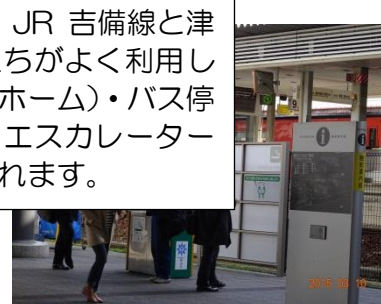
(イ) ビッグカメラ西側の横断歩道横の指定喫煙所



横断歩道で信号待ちをする方が受動喫煙します。

(ウ) 西口駅側の指定喫煙所

風向きによって JR 吉備線と津山線側（学生たちがよく利用しているプラットフォーム）・バス停側・トイレ側・エスカレーター側に副流煙が流れます。



- ② 敷地内完全禁煙になっていない病院・クリニックがあります。患者が通院するのにふさわしい環境を整えていただけますように働きかけをよろしくお願いいたします。

2 がん教育について

来年度より岡山下の各学校現場でがん教育に取り組んでいただけるようです。岡山市がまず率先してがん教育に取り組んでいただいたおかげと深く感謝しております。

- ① 今後は企業でのがん教育への取り組み強化をぜひ推進させていただきますようお願い申し上げます。企業内のがん患者への温かい支援が必要です。がんになっても患者の希望があれば働ける環境づくりの支援をぜひお願いいたします。ハローワーク内にもがん患者の相談窓口を設置していただいて、企業との連携を強めるようにご支援ください。
- ② 日頃から「がん」に正しく関心を持っていただくために「がんに関心を持とう」・「早期発見・早期治療のためにがん検診を受けよう」といった内容のポスターや標語・作文を学生から募集して展示会を開け、より一般の方に関心をもっていただけるような企画をしてください。

（岡大病院で開催されていた「手洗い・うがいのポスター展」は多くの方の目に留まっていたようです。）

3 がん患者への障害年金申請について

がん医療には多額の費用がかかり、障害年金は患者の命そのものと言っても過言ではありません。

- ① 岡山市独自の暫定制度を検討してください。

（１）現状はがんになり１年６か月を経たないと申請できません。

がんという病気の特性状、がんと診断されれば状況に応じてすぐ申請できる制度をご検討ください。

（２）申請後からの認定期間を短縮してください。現在、障害国民年金対象者では認定までに４か月を要します。

- ② 企業がこの制度をよく知り、がんで仕事を辞めざるをえなくなった方にすぐ紹介できるように、制度の周知の徹底を、患者だけでなく企業へしっかりとお願いします。

4 患者の経済的負担について

- ① 保険薬局に無料低額診療諸制度を拡大してくださるようにご理解とご支援をお願いいたします。この件については平成 25 年すでに岡山市議会に陳情され継続審査中ですが、採択には至っておりません。

② 高額限度額認定制度の限度額の減額していただけるように国に働きかけてください。

③ 一人の患者が複数の病院・保険調剤薬局を利用したとき、高額限度額認定制度は各病院・各保険調剤薬局で適用されますが、複数の病院・保険調剤薬局の支払いの総合計金額で高額限度額認定制度を適用できる制度になるように国に働きかけてください。

（院内処方をしていただけたときは、退院時に処方される薬の費用を含めての高額限度額認定制度を患者は利用できていましたが、現在は調剤薬局に別途薬代を支払わなければいけません。病院で高額限度額認定制度を利用したとき、調剤薬局では約21,000円以上の薬代を支払わないと高額限度額認定制度を利用できません。またこの場合後払い制度になっています。患者負担は調剤薬局制度になってから重くなっています。）

5 調剤薬局のサービスの拡充の検討をお願いします

院外処方になって久しいですが、調剤薬局に出向く不便さを感じる外来患者がいます。患者が希望すれば病院内（外来受付）まで薬を届けていただける仕組みになるようにご検討ください。

6 その他

家族・遺族のサポートとしてボランティアも運営に参加でき、どなたでも参加できる家族会・遺族会をつくるようご検討ください。